

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分	
2	道路及び街路整備事業(道路新設改良事業、街路整備事業)	新規	拡大 継続
会計区分	款	項	目
一般会計	8	2・4	3
所管			
建設局 土木部 道路計画課			
事務事業の位置付け			
しあわせ倍增プラン2009	番号		事業名
総合振興計画新実施計画	事業コード	4203	事業名 道路及び街路整備事業
根拠法令等	道路法、都市計画法		
予算要求事業の概要			
内容	広域幹線道路整備路線 一般国道122号蓮田岩槻バイパス、一般国道463号越谷浦和バイパス、道場三室線、さいたま鴻巣バイパス 国直轄道路 一般国道16号・17号・298号 市内幹線道路整備路線 三橋中央通線、田島大牧線、産業道路、岩槻中央通り線、大宮岩槻線他		
目的・目標	<目的> 広域的な移動に資する幹線道路について、効率的かつ効果的に整備を推進し、広域交通ネットワークの形成を図るとともに、市内幹線道路網の整備を推進します。 <目標(平成25年度末)> 1 都市計画道路整備率 48%		
現状と課題	<現状(平成21年度末見込み)> 1 平成21年度末都市計画道路整備率 44.5% 整備完了予定路線 本町通り線(鈴谷)、道場三室線(1工区)、産業道路(北袋) <課題> 1 道路整備計画に基づき、効率的かつ効果的な整備を図るとともに、適切な事業の進行管理の徹底を図り、交通渋滞解消などの整備効果を早期実現する必要があります。 2 国庫補助金等、必要な財源を確保する必要があります。 3 確実な事業進捗を図るため、任意交渉が困難な箇所では土地収用法手続き移行など具体的な検討を進める必要があります。		
今後のスケジュール	引き続き広域幹線道路及び大宮駅、さいたま新都心駅、浦和駅周辺などを中心とする市内幹線道路の整備を推進するため、検討業務、用地買収、物件補償、工事を行います。 ・平成22年度末都市計画道路整備率44.8% 整備完了予定路線 道場三室線(2工区)一部区間、与野中央通り線(2工区)		

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	12,522,616	<積算内訳> 1 街路整備事業 7,848,817 [主な内容] 三橋中央通線(用地買収、補償) 道場三室線の整備(用地取得、補償、整備工事) など
	財源内訳		分担金及び負担金 6,550 国庫支出金 2,926,800 県支出金 90,000 財産収入 90,000 市債 6,380,300 一般財源 3,028,966
平成22年度	当初予算要求	15,397,883	<積算内訳> 1 街路整備事業 11,202,211 [主な内容] 三橋中央通線(用地買収、補償)道場三室線の整備(整備工事) 田島大牧線(太田窪工区)(用地取得、補償)【新規】 など 2 道路新設改良事業 4,195,672 [主な内容] 一般国道122号蓮田岩槻バイパス(設計、整備工事) 国直轄道路事業負担金 など
	財源内訳		<要求理由> 平成21年度に引き続き、道路整備を進めるとともに、新たに田島大牧線(太田窪工区)の整備を推進するため、必要な経費を要求するものです。
	財政局長査定	12,894,532	<査定内容> 1 街路整備事業 9,134,136 2 道路新設改良事業 3,760,396
	財源内訳		<査定理由> 整備効果の面で優先度の高い路線に絞って予算化しました。なお、工事の進捗に影響のない一部の用地取得について予算化を見送りました。
	市長査定	12,894,532	<査定内容> 同上
	財源内訳		<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。
	財源内訳		分担金及び負担金 19,200 国庫支出金 3,607,950 県支出金 40,000 財産収入 276,000 市債 6,246,700 一般財源 2,704,682